



人形を迎える歌

M. M. ♩ = 56. 文学博士高野辰之作歌 東京音楽学校作曲

一、二、三、
うなみをアちるらノモトモタリチノ
カホモコバココロモオナシニ
マコトノココイノモんぎやうさ
ココサシイアオタラタレガマ
カサハインイカハイニハニオ
アオオモハハのミツモナリデ
アオオモハハのミツモナリデ

高崎市歴史民俗資料館

- 1 JR高崎駅西口(群馬中央バス) 県立女子大行き約30分「慈眼寺裏」下車徒歩3分
- 2 JR高崎駅東口(群馬バス) 日赤病院行き約20分「下滝西」下車徒歩8分
- 3 JR高崎駅東口(ぐるりん) 群馬の森線「滝川郵便局入口」下車徒歩15分
- 4 関越自動車道(高崎 IC)5分
- 5 関越自動車道(高崎玉村スマート IC)3分
- 6 北関東自動車道(前橋南 IC)5分

駐車場:大型車3台/普通車20台

高崎市歴史民俗資料館 〒370-0027
群馬県高崎市上滝町1058 Tel・Fax:027(352)1261
E-mail:rekimin@city.takasaki.gunma.jp
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2013121900362/>



高崎市歴史民俗資料館

令和6年 渋沢栄一 新一万円札発行記念

青い目の人形を 抱いた高崎の 子どもたち



昭和2年(1927)5月5日の端午の節句に行われた日米親善使節人形「サリー・アン」の歓迎会の写真
(中央で抱かれているのがサリー・アン)

サリー・アンは昭和2年5月1日に高崎幼稚園に贈られ、6年前から200人の幼児たちと仲良く遊んでいたセーラ、リリー、マリー、ゆう子、桃子の5体の人形の仲間入りをした。

入館無料

令和6年

4/27(土)・7/7(日)

開館時間:午前9時～午後4時
休館日:月曜日 ただし4月29日(月)は開館し、翌30日(火)休館。5月6日(月)は開館し、翌7日(火)休館
主催:高崎市歴史民俗資料館
〒370-0027 群馬県高崎市上滝町1058
Tel・Fax 027(352)1261
E-mail rekimin@city.takasaki.gunma.jp
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2013121900362/>





高崎幼稚園に贈られた青い目の人形「サリー・アン」 昭和2年撮影 高崎市歴史民俗資料蔵

◆ 昭和2年(1927)人形による日米親善事業

昭和2年(1927)、日本の3月3日の雛祭りに間に合うようにと、アメリカから12,739体の親善使節人形「青い目の人形」が送られてきた。これを受けて日本からは、12月25日のクリスマスに間に合うようにと58体の答礼使節人形「黒い目の人形」が送られた。この人形による親善事業は、日米関係が急速に悪化しつつあった当時、子どものうちから両国民の理解と親善を深めようと、子どもたちが持ち寄った人形を大使として送り、交流しようという目的で行われた。この活動は、アメリカの宣教師シドニー・ルイス・ギュリックと日本近代資本主義の父と呼ばれた渋沢栄一が中心となり、外務省と文部省の協力で実現した。日本に長く滞在した経験のあるギュリックは、日本に雛祭りという人形を飾る行事があり、日本人の人形への思い入れが深いことを知っていたが、日本の新聞記者から野口雨情が作詩し、のちに本居長世が作曲した「青い目の人形」(大正10年12月発表)が愛唱されており、大正12年に発生した関東大震災の義援金を募る際にアメリカで演奏されていることに興味を持って人形による交流を思いついたのである。この親善事業は、日米両国の民間人530万人(アメリカ270万人、日本260万人)が力を合わせて実現した壮大な民間外交となった。その後、活動の甲斐もなく、日本では戦争によって多くの親善人形が傷つき姿を消したが、幸いにも全国に340体が現存している。一方、アメリカに渡った答礼人形は47体の無事が確認されている。

◆ パスポート記載内容

Name 名前: Sally Ann サリー・アン

Nose 鼻: short

Mouth 口: sweet

Place of Birth 出生地: Syracuse, N.Y., U.S.A.

シラキュース(ニューヨーク州中央部に位置する商工業都市)

親善使節人形 「青い目の人形」の特徴

ショルダーヘッド: 頭から肩までひとつづき

スリーピング・アイ: 姿勢によって瞼が開閉する

カラクリ: 体を起こしたり、腹を押したりすると、「ママー」と鳴くものが多い

コンポジション・ドール: パルプやおが屑、土を練り混ぜて精製し、乾燥させて糊やグリセリンなどを混ぜたものを仕上げ塗りして顔を描き入れた人形

◆ 基本情報

製造メーカー: ELH.C(ホースマン社)

寸法: 35.5センチメートル

当時、アメリカでは人形が大量生産されており、世界児童親善会がジェニウィン社、エファンビー社、ホースマン社の3社に発注し、衣裳を着ていない裸人形を販売した。この人形にアメリカの児童たちが衣裳を作って着せる例が多かった。



製造メーカーは人形の首の後ろに刻印されている

To Boys and Girls in Japan

THIS passport introduces to you Sally Ann a loyal and law-abiding citizen of the U. S. A., who goes to visit Japan as a Messenger of Friendship and to see the Hina Matsuri, March 3, 1927.

This Messenger represents the Boys and Girls of America and carries their greetings and a Message of Goodwill.

Please take care of Sally Ann while in Japan and give her any help and protection that may be needed. She will obey all the laws and customs of your country.

With all good wishes,

“UNCLE SAM”

Jan 1927.

PERSONAL DESCRIPTION

Name Sally Ann サリー・アン

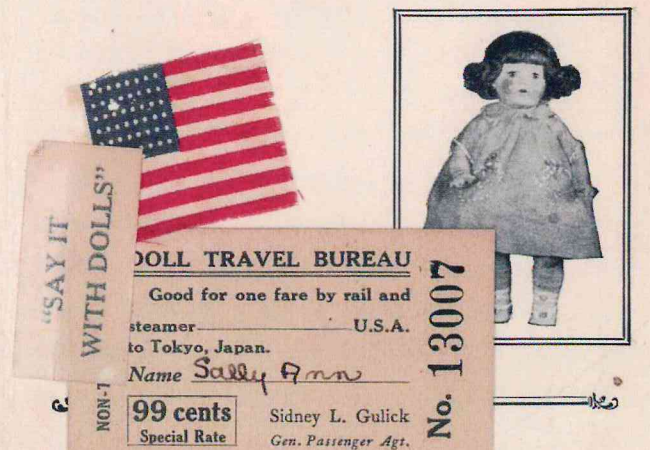
Eyes (color) _____

Hair (color) _____

Nose short 短い

Mouth sweet 可愛い

Place of Birth Syracuse, N.Y. 能代市 シラキュース U.S.A.



サリー・アンの特別旅行免許状「パスポート」



が形人おい愛可

使おの善親



善善親童兒際國本日

◆ 世界児童親善会の小冊子翻訳

「可愛いお人形が親善のお使」

大正12年(1923)、米国で国際親善の促進を目的とする「世界児童親善会」が組織され、日本に親善使節人形を送る計画の実施について、概要や注意事項等を記した小冊子を米国内に広く配布して協力を求めた。この冊子を昭和2年(1927)2月19日に設立した「日本国際児童親善会」が翻訳したのが「可愛いお人形が親善のお使」と題したパンフレットで、人形とともに配布された。

1. 多くの人形は10月か11月中には旅立つようにしたい
2. 地方での送別会には、代表の2、3の人形を残して、送別会より早く出発させてもよい
3. 人形は一つずつ注意して丈夫な紙箱に入れ、地方委員長のところに届けてほしい
4. 地方委員は人形が友情好意のお使いとして日本に行くのにふさわしいものであるか、切符や旅券や手紙を持っているかを調べてほしい
5. 日本政府は、文部省または特別委員の手で日本の諸学校に人形を配布する。この人形の配布は1927年3月3日に間に合うように行われる予定である



群馬県を代表する答礼使節人形「ミス群馬」のニックネームは、糸の国「上野」にふさわしく、県知事が名づけ親となって正式に「上野絹子」と命名された。
写真：前橋市教育資料館蔵

答礼使節人形の特徴

背丈：2尺7寸(82センチ) 当時の5～6歳の女児がモデル
 本体：東京製は桐塑、京都製7体は木彫。素材は、東京製が桐のおが屑と正麩糊を練り凹型の型に詰めて乾燥させたもの。京都製の7体は桐を丸彫した生地に胡粉が塗られている
 形態：三つ折れ人形。腰と大腿部、膝と脛の部分が金属製の蝶番でつながっており正座もできる
 手足：手足の指のしわや爪、足の裏には土踏まずまで表現されており、手のひらには生命線、頭脳線、感情線も刻まれている
 泣き子：胴にフイゴ笛を取付けた人形で、胴を押すとフイゴの空気で笛が鳴る
 衣裳：三越、白木屋、高島屋、松屋、松坂屋特製の友禅縮緬と本金の丸帯
 足袋：両国の力士専門の足袋職人が作った足袋
 肌着：上下とも洋風肌着

◆ 答礼使節人形の取り違え

日本から贈られた「答礼使節人形」は、米国でさまざまな取り違えがあった。人形自体には名前を示すものがないため、人形につけられたパスポートも着物の袂に入れられて紛失してしまうことが多かった。米国に着くと答礼使節人形は米国各地を「巡業」して回り、多くの人形が取り違えられて、行くべき州とは別の場所に送られてしまった。

◆ 「ミス群馬」の発見？！

ミス群馬の送り先はニューヨーク市ブルックリンのブルックリン博物館と決まったが、現在「ミス福岡」としてオレゴン州ユージーンのアレクサンダー美術館に納められている人形の着物の柄がミス群馬のものによく似ている。さらに、この2体とは違う「ミス群馬」が平成21年(2009)マレーシアで発見された。クアラルンプールの人形収集家が平成26年(2014)に日本の人形店に人形の修復を依頼したことから、「ミス群馬」であることがわかったという。所有者はこの人形が日米友好の使命をもった人形であることをよく理解し、平成27年(2015)にアメリカに返還された。

◆ 「新しい青い目の人形」

シドニー・ギュリックの遺志を引き継いだ「ギュリック3世」こと孫のデニー・ギュリックは、昭和61年(1986)から私財を投じ、新しい友情人形「新青い目の人形」を毎年10体ずつのペースで日本各地の幼稚園や小学校に送り続けている。妻のフランシスもまた人形の旅行カバンや着替えの洋服、小物を手作りしている。現在、高崎幼稚園には、昭和2年に高崎第二幼稚園に贈られた青い目の人形「ジーン・ジョイス・ローズ」とともに、新青い目の人形「ジュリー(平成4年)」と「カレン(平成9年)」が保管されている。なお、高崎第二幼稚園は昭和61年(1986)4月の合併で高崎幼稚園に改称された。



てこと者使の礼答
へ 國 米
うせまり送を形人



善善親童兒際國本日

◆ 日本国際児童親善会

「答礼の使者として米国へ人形を送りませう」

日本国際児童親善会によって答礼の人形を送る計画が企画され、昭和2年7月、親善人形を受取った各小学校と幼稚園に「答礼の使者として米国へ人形を送りましょう」と題したパンフレットが配布され、これに基づいて人形作りのための寄付や答礼人形の送別会が実施された。

1. 答礼の使者としてアメリカに人形を送る
2. 展覧会や送別会を開くこと
3. 青い目の人形を迎えた小学校や幼稚園は、強制しないように答礼人形の代金を女児1人につき1銭ずつ集めて取りまとめ、各道府県の取扱者に送付すること
4. 親善の手紙を書くこと
5. 日本から答礼の使者として送る人形は、クリスマスに間に合うようにする